関連記事

令和4年 6月 28日 （火） 朝刊・夕刊
毎日新聞 26 面 （地域 面）

今回のテーマ

ロボット支援手術の今 ㊥

患者塾

医療の疑問にやさしく答える

患者の術後の生活や体の機能維持は

痛み少なく入院期間も短縮

小野村健太郎塾長と
平田敬治さんが対談

第263回患者塾「ロボット支援手術の今」の2週目は、入院期間の変化など患者の術後の生活や体の機能維持にどんなプラスがあるのか、小野村健太郎塾長と、産業医科大（北九州市八幡西区）第1外科学教室の平田敬治教授が対談形式で解説する。

【まとめ・青木絵美】

■精細画像も支えに

小野村さん　直腸がんのロボット支援手術を受ける方のおたずねから始めましょう。「実際に手術をするロボットの手には、たくさん関節があって、めちゃくちゃ細かい手術ができると聞きました。直腸がんの手術の場合、具体的にどんなことができるようになったのですか？」

平田さん　直腸がんの手術の場合、骨盤腔というおなかの奥深い場所に鉗子を入れる際、「取り回し」にとても苦労します。ロボット支援手術の鉗子は「多関節機能」で自由自在に曲げられるので、切りたい方向に臓器や血管などを切ることができ、奥深い所にある狭い空間であることを気にする必要がありません。

小野村さん　難しい場所だと出血が増える傾向がありますよね。ロボット支援手術では、出血が少ないのでしょうか？

平田さん　より精緻で安全な手術ができますので、当然出血も少なくなります。

小野村さん　極端な言い方になりますが、車の運転で例えるなら、以前の手術は暗い中をナビなしで、片やロボット支援手術は、明るく照らされた中をナビに誘導されて走る感じでしょうか？

平田さん　家庭ではテレビがハイビジョンになって、より精細な画像が見られるようになりました。アップの画像だと、髪の毛が一本一本見えますよね。手術もそれと同じで、ハイビジョンにより、手術する部位がより精細に見えるようになりました。さらに3Dの登場で立体感や奥行きが出て、手術する部位の血管や神経を傷つけない、より安全な手術ができるようになりました。家庭のテレビ同様、手術用のモニターも大きなサイズになっていて、画面を指でさわって拡大したり、マークをしたりすることできます。

■患者側の利点は？

小野村さん　ここからは手術を受ける側のメリットも考えてみます。術後の痛みは以前と比べて少ないと思っていいのですか？

平田さん　術後の痛みは、おなかの傷の大きさに比例しますので、腹腔鏡手術と同じように、開腹手術に比べると明らかに術後の痛みは少ないようです。

小野村さん　傷は、腹腔鏡と同じ程度の大きさですか？

平田さん　鉗子を体内に差し込むトロッカーというパイプのサイズに関しては、今のところ、ロボット支援手術が腹腔鏡手術より小さくなることはないと思います。しかし、腹腔鏡手術でも、手術の際の傷が少なくなったり小さくなったりはしていますから、今後ロボットでもパイプが細径化されていく可能性があります。

小野村さん　入院期間の長さはどうなんでしょう？

平田さん　手術の内容や個人差もありますが、開腹手術に比べると明らかに短くなります。腹腔鏡手術とはあまり変わりはないようです。

小野村さん　術後の機能が保たれるかどうかも気がかりなようで、こんなおたずねが来ています。「直腸がんの手術後、排便機能がどうなるか心配です。ロボット手術の方が機能は保たれますか？」

平田さん　直腸がんの手術で、排便や排尿機能、性機能が、従来の手術より温存されるという結果は得られていません。現時点では、前立腺がんの手術の場合はロボット支援手術の方が排尿機能の温存に優れるとされています。

小野村さん　人工肛門についても関心が高いですね。「ロボット支援手術だと、人工肛門にしなくてよくなるケースはありますか？」というおたずねが届いています。

平田さん　医療機関や医師により違いもありますが、人工肛門は直腸がんがどれだけ肛門に近い場所にあるかで決まりますので、ロボット支援手術が普及しても、人工肛門になる割合はさほど変わらないと思います。

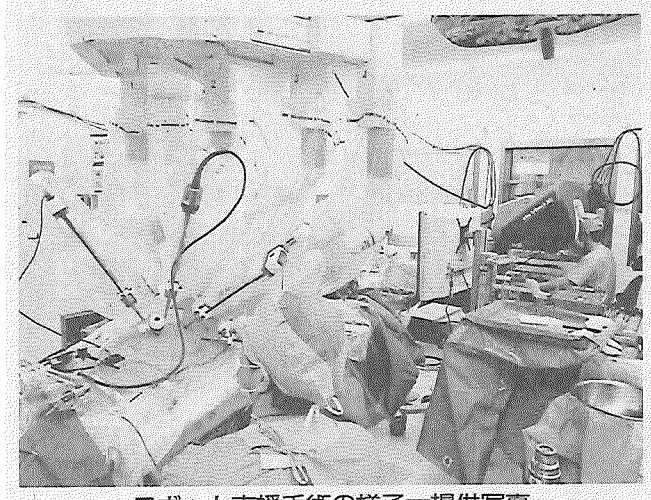
小野村さん　ロボット支援手術で「これだけは言っておきたい」ということはありますか？

平田さん　ロボット支援を活用し、より精緻で安全な手術ができれば、当然合併症も減るはずです。ただ、ロボットが勝手にやってくれるわけではありませんので、我々外科医がいかにロボットをうまく扱うかが大事ですね。また、患者さんも術前・術後のリハビリをちゃんとやる必要があります。

小野村さん　次は「ロボット支援手術の未来」を語ります。

◇

参院選関連の報道などに伴い、次の患者塾は7月26日掲載予定です。



ロボット支援手術の様子＝提供写真

質問は事務局へ
〒807―0111
福岡県芦屋町白浜町
2の10
「おのむら医院」内
電　話093・222・1234
FAX093・222・1235

（掲載について対談者許諾済、無断転載（コピー、スマートフォン等での撮影）禁止）

総務課広報係